



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社中央製作所

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 太田 浩

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,266	24.1	47	—	55	—	50	—
26年3月期第2四半期	1,827	—	△98	—	△93	—	△94	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 110百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △60百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	6.54	—
26年3月期第2四半期	△12.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,874	1,704	35.0
26年3月期	4,760	1,594	33.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,704百万円 26年3月期 1,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,190	17.1	214	543.3	227	368.6	200	425.5	25.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	7,843,000 株	26年3月期	7,843,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	78,632 株	26年3月期	77,086 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	7,765,306 株	26年3月期2Q	7,765,964 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産実績	10
(2) 受注実績	10
(3) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏季の天候不順、相次ぐ大規模災害の発生などにより落ち込みが懸念されました。しかしながら、雇用及び所得環境の改善や行過ぎた円高の是正が見られ、景気は回復基調となっております。一方、海外経済は、順調な米国経済に牽引される形で推移しておりますが、新興国経済の成長鈍化による影響、中東や東欧における地政学的リスク及び全世界的流行の懸念される伝染病などに起因する景気の下振れが懸念される状況となっております。

こうした中で、当社グループは国内需要の掘り起こしに注力するとともに、海外での需要に積極的に対処できる体制の整備・充実を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は2,863百万円(前年同期比14.2%増)、売上高は2,266百万円(前年同期比24.1%増)、営業利益は47百万円(前年同四半期は営業損失98百万円)、経常利益は55百万円(前年同四半期は経常損失93百万円)、四半期純利益は50百万円(前年同四半期は四半期純損失94百万円)となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、小型インバータ電源などの汎用型製品の拡販に重点を置き、リードタイムの短縮、コスト削減に取り組み生産・販売活動を行ってまいりました。また、電着塗装用電源機器や二次電池用充放電電源機器などのオーダーメイド型製品も受注が堅調に推移いたしました。

その結果、受注高は661百万円(前年同期比14.6%増)、売上高は680百万円(前年同期比31.5%増)となり、いずれも大幅に増加いたしました。

今後もラインナップを拡充した小型インバータ電源の市場への更なる浸透を図るとともに、顧客や市場の生産ニーズに的確に応えられる技術・製品の提供を通じて、受注・売上の拡大に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、国内外の新規・更新需要に対して、顧客ニーズへの的確な対応により、受注の確保を図ってまいりました。

その結果、受注高1,103百万円(前年同期比3.8%増)と増加しましたが、売上高におきましては、受注から納入までのリードタイムが長いため626百万円(前年同期比11.8%減)にとどまりました。

今後は、ここ数年の設備投資の抑制傾向に伴い手控えられていました国内の更新需要はもとより、新しい生産方式に対応した装置の積極的な技術提案に取り組み、受注確保を図ってまいります。

また、当期の後半には納期設定されている装置も多く、すべての物件について更なるコミュニケーションの下に、情報の一元管理や効率的な生産プロセス管理に努め、顧客の仕様や製品納期などについて確実に全うし、売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、好調な国内の輸送機業界を中心に更新需要及び海外進出に伴う新規設備投資に積極的に対応してまいりました。一方、海外におきましては、海外代理店との連携を密にして汎用溶接機を中心に積極的な拡販に努めてまいりました。

その結果、受注高は589百万円(前年同期比37.5%増)、売上高は513百万円(前年同期比43.5%増)と伸ばいたしました。

今後は、本年9月より市場に投入しました新型溶接機用制御装置「CE2-6-7」の市場への浸透に努めつつ、汎用溶接機の生産コストの一層の削減及びリードタイムの短縮に取り組み、受注・売上の確保に努めてまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、地球環境保全について国際的な取り組みが進展する中、リサイクル関連機器及び各種液管理機器の機能改善に引き続き取り組んでまいりました。

その結果、受注高は148百万円(前年同期比30.1%減)となりました。売上高は、大型の排水処理装置の納入が寄与し201百万円(前年同期比30.4%増)と増加いたしました。

今後は、一層の省エネルギー化、省資源化及び環境負荷の低減が求められる市場に対し、液管理装置やペーパーコン・エチクリーン(各商品名)等のリサイクル装置を積極的に提案し、受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1.6%増加し3,943百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が367百万円減少したものの、現金及び預金が138百万円、電子記録債権が122百万円、仕掛品が200百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6.0%増加し930百万円となりました。これは、投資その他の資産が53百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2.4%増加し4,874百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1.9%増加し2,335百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3百万円減少したものの、その他が52百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4.6%減少し834百万円となりました。これは退職給付に係る負債が36百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ0.1%増加し3,170百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6.9%増加し1,704百万円となりました。これは、利益剰余金が50百万円、その他有価証券評価差額金が30百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首時点に比べて138百万円増加し1,253百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果は159百万円の収入(前年同四半期は支出185百万円)となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額242百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額216百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は19百万円(前年同四半期は支出5百万円)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出12百万円、無形固定資産の取得による支出7百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は0百万円(前年同四半期は支出0百万円)となりました。

支出の内訳は、自己株式の取得による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月4日に公表しました個別決算における「業績予想の修正に関するお知らせ」にも記述しましたように、平成26年5月14日公表の当初予想に変更はありません。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,264,975	1,403,442
受取手形及び売掛金	1,796,970	1,429,752
電子記録債権	17,162	139,619
商品及び製品	62,657	66,346
仕掛品	532,126	732,574
原材料及び貯蔵品	104,638	116,532
その他	111,708	61,455
貸倒引当金	△7,200	△5,900
流動資産合計	3,883,040	3,943,821
固定資産		
有形固定資産	307,358	301,635
無形固定資産	11,872	16,989
投資その他の資産	558,261	611,672
固定資産合計	877,492	930,297
資産合計	4,760,532	4,874,119
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,031,551	1,028,077
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	13,322	7,992
その他	407,011	459,898
流動負債合計	2,291,885	2,335,968
固定負債		
役員退職慰労引当金	222,400	201,500
退職給付に係る負債	601,821	565,501
その他	50,072	67,111
固定負債合計	874,294	834,113
負債合計	3,166,179	3,170,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	776,595	827,392
自己株式	△11,581	△11,902
株主資本合計	1,493,600	1,544,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,047	183,419
為替換算調整勘定	9,400	7,389
退職給付に係る調整累計額	△61,696	△30,848
その他の包括利益累計額合計	100,752	159,961
純資産合計	1,594,352	1,704,037
負債純資産合計	4,760,532	4,874,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,827,361	2,266,867
売上原価	1,471,742	1,734,573
売上総利益	355,618	532,294
販売費及び一般管理費	454,590	484,480
営業利益又は営業損失(△)	△98,971	47,813
営業外収益		
受取利息	45	325
受取配当金	2,963	3,461
持分法による投資利益	3,506	5,620
為替差益	2,014	451
その他	2,003	1,624
営業外収益合計	10,532	11,482
営業外費用		
支払利息	4,124	3,739
その他	449	190
営業外費用合計	4,573	3,930
経常利益又は経常損失(△)	△93,013	55,366
特別損失		
固定資産処分損	92	113
特別損失合計	92	113
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△93,105	55,252
法人税、住民税及び事業税	1,077	4,455
法人税等合計	1,077	4,455
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△94,182	50,796
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94,182	50,796

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△94,182	50,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,173	30,371
為替換算調整勘定	3,552	△2,011
退職給付に係る調整額	-	30,848
その他の包括利益合計	33,725	59,208
四半期包括利益	△60,457	110,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,457	110,005
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△93,105	55,252
減価償却費	22,009	21,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,053	△1,300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,996	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△5,471
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,600	△20,900
受取利息及び受取配当金	△3,008	△3,787
支払利息	4,124	3,739
持分法による投資損益(△は益)	△3,506	△5,620
固定資産処分損益(△は益)	92	113
売上債権の増減額(△は増加)	128,855	242,927
たな卸資産の増減額(△は増加)	△269,308	△216,083
仕入債務の増減額(△は減少)	124,939	60
その他	△108,434	98,367
小計	△181,892	168,474
利息及び配当金の受取額	3,008	3,787
利息の支払額	△4,126	△3,760
法人税等の支払額	△2,154	△8,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185,165	159,685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,396	△12,061
無形固定資産の取得による支出	-	△7,214
投資有価証券の取得による支出	△265	△257
長期貸付けによる支出	-	△400
長期貸付金の回収による収入	228	170
その他	6	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,426	△19,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△321
配当金の支払額	△38	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38	△321
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,008	△973
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△187,621	138,466
現金及び現金同等物の期首残高	1,174,601	1,114,975
現金及び現金同等物の四半期末残高	986,979	1,253,442

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	745,621	32.9
表面処理装置	660,838	△28.7
電気溶接機	555,089	55.3
環境機器	153,144	△17.7
その他	440,787	246.5
合計	2,555,480	18.4

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	661,594	14.6	353,602	1.0
表面処理装置	1,103,528	3.8	1,194,574	16.2
電気溶接機	589,442	37.5	211,970	5.6
環境機器	148,288	△30.1	27,596	△75.8
その他	360,533	60.1	333,989	106.3
合計	2,863,387	14.2	2,121,732	14.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	680,687	31.5
表面処理装置	626,007	△11.8
電気溶接機	513,821	43.5
環境機器	201,014	30.4
その他	245,336	178.2
合計	2,266,867	24.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。